

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	32	豊田市立 久平小学校	代表	中山 智恵
------	----	------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域を愛し、学びと心を未来につなぐ子 サブテーマ 地域や校内の自然を生かした「みどりの活動」を通して	分野	d	環境教育
学校づくりの視点（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校を取り巻く自然環境を生かし、「みどりの活動」として未来へつながる環境学習を推進する。特に「里山」の重要性に気付かせ、樹木を中心として、自然と人間の共生に対する理解を深める。そして、里山を大切に思い、ふるさとに対する思いを深め、未来につながる行動ができる「地域を愛し、学びと心を未来につなぐ子」を育てる。(本校の「みどりの活動」の定義…自然に親しみ、自然とともに育つ、心豊かな児童の育成をめざす活動) ○ 校庭や学習園の緑豊かな自然を、安全に有効活用できるように、樹木の伐採、除草作業のために、公務手に加えて、校内整備員を配置して活用していく。 	(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	<p>1 「みどりの活動」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境保護活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・里山づくりの学習(1年～6年) ・水生生物調査(4年)を始めとする環境学習および保護活動 ② 見つめる目、感じる心を育てる「みどり」の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくの木・わたしの木」の観察 ・東山学習園・植物園でのフィールドワーク ③ 自然木、梅・椎茸を中心とした保護・栽培活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自然木の保護(全校)、椎茸栽培(4年)、梅の実取り(4～6年) ・梅ジュースづくり(全校) ④ 「みどり」を生かした学校行事の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「みどりを描く会」「みどりのオリエンテーリング」「みどりのカルタ取り集会」 ⑤ 「新・樹木図鑑」「新・みどりのカルタ」の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の調査結果から新たに樹木を加えて図鑑とカルタを編集・印刷 <p>2 「みどり」に関する環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「東山学習園」「植物園」を中心とした環境整備 ② 観察コースの補修整備 <p>3 年間計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 4～9月 … 環境学習、環境整備、「新・樹木図鑑」「みどりのカルタ」編集・印刷 10～12月 … 行事「みどりのオリエンテーリング」、環境学習 1～3月 … 行事「みどりのカルタ取り集会」、環境学習のまとめと発表 年間 … 樹木観察、栽培活動、環境保護活動 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内整備員 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題設定や解決に向けて、異学年で一緒に取り組むことにより、交流が深まり共に学ぼうとする態度が形成される。 ○ 樹木について新しい知識や観察方法を学び、五感を働かせた継続的な観察ができるようになり、樹木や自然に対する愛着がもてるようになる。 ○ 保護・栽培活動や「みどり」の学習、地域の環境学習を通して、ふるさとに対する思いを深めることができる。また、ホームページや学校だより等で本校の活動に対する周知を図るとともに、理解・協力を得て、活動を活性化することができる。 ○ 長年に渡り継続して取り組んでいることから、保護者や祖父母とも共通の話題がもて、学びを深めることができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の活動の様子や行事後の感想から ○ 保護者ボランティア参加者の声や聞き取り調査から ○ 保護者アンケートの数値や意見から ○ 学校自己評価から 			